

## E 本学内教育参加

### [昭和63年度追加]

(氏名)	(学科)	(講義題目)
(1) 全学一般教育ゼミナール		
後藤教授	第2・4学期	イスラームと都市社会

### [平成元年度]

#### 1. 大学院

(氏名)	(専門課程)	(講義題目)
(1) 人文科学研究科		
高嶋 助教授	中国語中国文学	古代漢語の諸問題
田 仲 教授	中国語中国文学	西廂記
斯波 教授	東洋史学	宋代史の諸問題
松丸 教授	東洋史学	殷周青銅器銘文研究
山崎 教授	東洋史学	インド法制史研究
池田 教授	東洋史学	唐六典研究
濱下 教授	東洋史学	中国近代經濟史研究
宮 鳶 助教授	東洋史学	近代朝鮮經濟史研究
羽田 助教授	東洋史学	イラン・イスラム文化研究
松丸 教授	中国哲学	殷周青銅器銘文研究
蜂屋 教授	中国哲学	南朝の思想
上村 教授	印度哲学印度文学	サンスクリット戯曲講読
板垣 教授	宗教学宗教史(イスラム学)	現代イスラムをめぐる諸問題
後藤 教授	宗教学宗教史	ムハンマド伝研究
小川 助教授	美術史学	中国絵画史研究

#### IV 研究活動

戸田教授	美術史学	東洋美術史演習
小川助教授	美術史学	東洋美術史演習
(2) 法学政治学研究科		
猪口教授	政治学	現代比較政治理論
鈴木助教授	政治学	中東政治論研究
(3) 経済学研究科		
柳澤教授	応用経済学	アジア経済論
加納助教授	経済史学	経済史専攻指導
(4) 総合文化研究科		
関本助教授	文化人類学	文化理論 I
関本助教授	文化人類学	社会人類学特殊研究 I
関本助教授	文化人類学	文化人類学特別研究
関本助教授	文化人類学	文化人類学特別演習
加納助教授	文化人類学	社会人類学特殊研究
松谷教授	文化人類学	文化過程論演習 I、II
松谷教授	文化人類学	文化人類学特殊研究 I
板垣教授	地域文化	現代イスラム論
後藤教授	地域文化	アジア地域文化構造論
羽田助教授	地域文化	アジア地域文化相關論
(5) 理学系研究科		
友杉教授	地理学	地誌研究
友杉教授	地理学	地誌学演習
(6) 農学系研究科		
山田・原教授	農業経済学	国際農業論特殊研究 I
山田・原教授	農協経済学	国際農業論特殊演習 II



## 2. 学 部

(氏名)	(学科)	(講義題目)
(1) 文学部		
戸 田 教 授	美術史学	美術史学特殊講義
猪 口 教 授	社会学	国家と社会
鈴 木 助 教 授	文化交流研究施設	オスマン・トルコ文化の諸相
(2) 経済学部		
加 納 助 教 授	経済学	東南アジア経済史
(3) 教養学部		
松 谷 教 授	教養学科	先史人類学
後 藤 教 授	教養学科	イスラムと政治
原 教 授	教養学科	東南アジアの経済
関 本 助 教 授	教養学科	文化人類学理論Ⅱ
関 本 助 教 授	教養学科	社会の構造
(4) 理学部		
友 杉 教 授	地理学	人類生態学
(5) 農学部		
山 田 教 授	農業経済学	国際農業論
原 教 授	農業経済学	比較農業
(6) 全学一般教育ゼミナール		
関 本 助 教 授	第1・3学期	東南アジアの暮し
羽 田 助 教 授	第2・4学期	シルクロードとイスラーム

#### IV 研究活動

[平成2年度]

##### 1. 大学院

(氏名)	(専門課程)	(講義題目)
(1) 人文科学研究科		
田 仲 教授	中国語中国文学	西廂記研究
丸 尾 教授	中国語中国文学	近現代文学と伝統社会
岡 本 教授	中国語中国文学	清代の思想と文学
斯 波 教授	東洋史学	宋代史の諸問題
池 田 教授	東洋史学	吐魯番・敦煌文書研究
松 丸 教授	東洋史学	殷周青銅器銘文研究
濱 下 教授	東洋史学	中国近代経済史研究
宮 嶋 助教授	東洋史学	近代朝鮮経済史研究
羽 田 助教授	東洋史学	イラン・イスラム文化研究
松 丸 教授	中国哲学	殷周青銅器銘文研究
蜂 屋 教授	中国哲学	南朝の思想
岡 本 教授	中国哲学	清代の思想と文学
丘 山 助教授	中国哲学	漢訳文典の研究
上 村 教授	印度哲学・印度文学	サンスクリット戯曲講読・インド文学研究の諸問題
丘 山 助教授	印度哲学・印度文学	漢訳仏典の研究
板 垣 教授	宗教学・宗教史学(イスラム学)	現代イスラムをめぐる諸問題
後 藤 教授	宗教学・宗教史学(イスラム学)	ムハンマド伝研究
鎌 田 助教授	宗教学・宗教史学(イスラム学)	イスラム思想文献研究
戸 田 教授	美術史学	東洋美術史演習
小 川 助教授	美術史学	中国画史講読・東洋美術史演習
(2) 法学政治学研究科		
猪 口 教授	政治学	アジア・太平洋の力学



猪口教授	政治学	アジア政治外交史専攻指導
鈴木助教授	政治学	中東伝統国際秩序観研究
鈴木助教授	政治学	アジア政治外交史専攻指導

(3) 経済学研究科

柳澤教授	応用経済学	アジア経済論(応用経済学Ⅶ)
柳澤教授	応用経済学	応用経済学専攻指導
加納助教授	理論経済学 経済史学	アジア経済史(経済史演習)
加納助教授	理論経済学 経済史学	経済史専攻指導

(4) 総合文化研究科

後藤教授	地域文化研究	現代イスラム論 地域文化研究特別研究
羽田助教授	地域文化研究	アジア地域文化構造論演習Ⅱ 地域文化研究特別演習
板垣教授	地域文化研究	現代アジア論 地域文化研究特別研究
松谷教授	文化人類学	文化過程論 文化人類学特殊研究Ⅱ 文化人類学特別研究 文化人類学特別演習
関本助教授	文化人類学	文化理論Ⅰ 社会人類学特殊研究Ⅰ 社会人類学特別研究 文化人類学特別演習
加納助教授	文化人類学	社会人類学特殊研究Ⅰ
原教授	国際関係論	国際経済関係論 国際経済関係論演習 国際経済関係論特殊研究

#### IV 研究活動

原 教授	国際関係論	国際関係論特別研究 国際関係論特別演習
------	-------	------------------------

#### (4) 理学系研究科

友 杉 教授	地理学	地誌研究
友 杉 教授	地理学	地誌学演習

#### (5) 農学系研究科

山 田 教授	農業経済学	国際農業論持論 I
山 田 教授	農業経済学	国際農業論演習 I
原 教授	農業経済学	国際農業論持論 I
原 教授	農業経済学	国際農業論演習 I

## 2. 学 部

(氏名) (学科) (講義題目)

### (1) 文学部

戸 田 教授	美術史学	美術史学特殊講義
羽 田 助教授	東洋史学	イラン・イスラム世界の成立と 発展
鎌 田 助教授	東洋史学	イスラム史概説

### (2) 法学部

鈴 木 助教授	特別講義	中東の政治
---------	------	-------

### (3) 経済学部

斯 波 教授	経済・経営共通	中国経済史
--------	---------	-------

### (4) 教養学部

松 谷 教授	教養学科	先史人類学
松 谷 教授	教養学科	文化人類学演習
原 教授	教養学科	東南アジアの経済
板 垣 教授	教養学科	地域研究理論Ⅲ
加 納 助教授	教養学科	東南アジア経済史



関本 助教授	教養学科	文化人類学
関本 助教授	教養学科	文化人類学理論Ⅱ
鈴木 助教授	教養学科	アジアの政治変動
田中 助教授	一般教養	国際体系演習
猪口 教授	一般教養	政治学（文科Ⅰ類）

（5）理学部

友杉 教授	地理学	人類生態学
-------	-----	-------

（6）農学部

山田 教授	農業経済学	国際農業論
原 教授	農業経済学	比較農業

（7）全学一般教育ゼミナール

岡本 教授	第1・3学期	中国の比較思想
-------	--------	---------

IV 研究活動

F 外国出張（昭和63・平成元年度）

氏名	出張先	期間	目的
関本 照夫	連合王国	63. 4. 18 ～63. 5. 21	アジア社会の文化人類学的比較研究に関する調査研究
田仲 一成	中華人民共和国	63. 4. 19 ～63. 5. 1	日連戯研究会出席及び祭祀儀礼に関する調査研究
宮嶋 博史	大韓民国	63. 4. 21 ～63. 4. 28	韓国近代史の性格に関する研究プロジェクトのシンポジウム出席及び史料蒐集
猪口 孝	米国	63. 5. 17 ～63. 5. 21	米国ニューヨーク外交問題評議会において「多極化する世界の中の日本の国際貢献」について
松丸 道雄	中華人民共和国	63. 5. 22 ～63. 5. 30	殷周青銅器に関する調査研究
池田 温	中華人民共和国	63. 5. 24 ～63. 6. 4	陳寅恪記念国際シンポジウム出席及び東洋史に関する調査研究
友杉 孝	スリランカ	63. 5. 26 ～63. 6. 26	地域社会の構造に関する調査研究
猪口 孝	連合王国	63. 5. 30 ～63. 6. 7	ディッチリー会議及び国際戦略問題研究所セミナー出席
関本 照夫	マレーシア	63. 6. 9 ～63. 9. 7	マレーシア農村部における社会経済変動と文化受容に関する調査研究
小島 毅	中国（台湾） 香港	63. 6. 18 ～63. 6. 28	国際宋史研究討論会議出席及び宗代政治思想に関する調査研究
猪口 孝	香港	63. 6. 21 ～63. 6. 24	中国・アセアン・日本についての国際政治経済学会議出席のため



土佐 弘之	シンガポール・インドネシア	63. 6. 25 ～63. 7. 17	インドネシアにおける社会運動に関する調査研究
宮嶋 博史	大韓民国	63. 6. 28 ～63. 7. 15	大韓帝国期の土地制度シンポジウム出席及び近代朝鮮経済史に関する調査研究
濱下 武志	オーストラリア	63. 7. 3 ～63. 7. 23	シドニーにおけるG. E. モリソン文書の研究
柳澤 悠	インド	63. 7. 15 ～63. 9. 15	ムスリム支配期・英領期における南アジアの都市形成に関する現地調査
福嶋 真人	インドネシア	63. 7. 24 ～63. 8. 13	農村社会に関する文化人類学的比較研究
濱下 武志	エジプト, シリア, トルコ, イタリア, シンガポール, 中華人民共和国	63. 7. 27 ～63. 9. 6	イスラム都市社会の調査研究及びシンガポール華人社会の研究
鈴木 董	エジプト, シリア, トルコ, イタリア	63. 7. 27 ～63. 9. 5	イスラム都市社会の形成と変容に関する比較研究
松谷 敏雄	シリア	63. 7. 27 ～63. 12. 23	西アジア先史遺跡調査(第2次)のため
田仲 一成	香港	63. 8. 8 ～63. 8. 22	香港地方劇の調査研究
板垣 雄三	インドネシア	63. 8. 17 ～63. 8. 24	インドネシア文化センターにかかわる調査
池田 温	中華人民共和国	63. 8. 19 ～63. 8. 29	第3回中国敦煌吐魯番学会出席及び中国史に関する資料調査
宮嶋 博史	大韓民国	63. 8. 21 ～63. 8. 31	韓国近代史の性格に関する研究・シンポジウム出席及び朝鮮近代社会経済史に関する調査
原 洋之介	バングラデッシュ, タイ	63. 8. 21 ～63. 9. 3	農業経済に関する現地調査
宮嶋 博史	朝鮮民主主義人民共和国	1. 8. 22 ～1. 9. 4	歴史研究状況の調査及び資料調査
福嶋 真人	ポーランド	63. 8. 22 ～63. 9. 27	農村社会に関する文化人類学的比較研究

#### IV 研究活動

山田 三郎	オランダ, 西ドイツ, デンマーク	63. 9. 12 ～63. 12. 14	日本農業の国際比較経済分析研究
蜂屋 邦夫	中華人民共和国	63. 9. 16 ～63. 11. 10	中国文化に占める道教の位置と現状についての総合的調査・研究
吉田 純	中華人民共和国	63. 9. 16 ～63. 11. 10	中国文化に占める道教の位置と現状についての総合的調査・研究
原 洋之介	タイ	63. 10. 9 ～63. 10. 22	アジア諸国からの労働力流出に関する調査研究
猪口 孝	シンガポール	63. 10. 25 ～63. 10. 28	現代日本と国際問題セミナー出席
後藤 明	アメリカ合衆国	63. 10. 25 ～63. 11. 7	イスラムの都市性に関する情報交換及び資料収集
板垣 雄三	アメリカ合衆国	63. 10. 31 ～63. 11. 10	北米, 中東学会出席及び安全保障に関する調査研究
池田 温	大韓民国	63. 11. 3 ～63. 11. 8	東アジア三国の交流とその影響東洋学国際学術会議出席
小川 裕充	アメリカ合衆国, 香港	63. 11. 10 ～63. 12. 6	在米中国絵画の調査及び明代絵画国際学術討論会出席
猪口 孝	オーストラリア	63. 11. 12 ～63. 11. 17	アジア会議出席
土佐 弘之	オーストラリア	63. 11. 20 ～63. 12. 1	現代インドネシアにおける国家と市民社会会議出席及び政治学に関する資料収集
戸田 禎佑	香港	63. 11. 29 ～63. 12. 4	明代絵画国際学術討論会出席
濱下 武志	香港	63. 11. 30 ～63. 12. 2	中国海関史国際討論会出席
猪口 孝	アメリカ合衆国	63. 11. 30 ～63. 12. 4	日米経済問題に関する会議出席
柳澤 悠	インド	63. 12. 10 ～1. 1. 18	南アジア農村社会の歴史的変容に関する調査研究
板垣 雄三	イスラエル, エジプト	63. 12. 20 ～64. 1. 4	イスラム国家論の社会的展開に関する調査研究



藤原 千春	インド	1. 1. 9 ～1. 3. 2	独立運動とナショナリズムに関する調査研究
原 洋之介	タイ	1. 1. 10 ～1. 1. 14	アジア太平洋地域の経済構造調整に関する専門家会議出席
宮嶋 博史	大韓民国	1. 3. 19 ～1. 4. 23	大韓帝国期(1897～1910)の社会と経済に関する調査研究
原 洋之介	スリランカ, タイ	1. 3. 20 ～1. 4. 2	経済開発に関する調査研究
鎌田 繁	エジプト, イラン, トルコ, ギリシャ, ヨルダン, レバノン, シリア, イラク, イスラエル, キプロス, モロッコ, スペイン, イタリア, フランス, 西独, 連合王国	1. 3. 25 ～2. 3. 31	伝統的イスラーム思想とその現代的展開に関する調査研究
猪口 孝	連合王国	1. 3. 27 ～1. 4. 1	国際関係研究学会・脱国家研究活動委員会出席
池田 温	中華人民共和国	1. 4. 18 ～1. 4. 24	中国法律史国際学術討論会出席及び中国古代史に関する資料調査
小島 毅	中華人民共和国	1. 4. 20 ～1. 6. 7	宋代政治思想史に関する調査研究
山田 三郎	アメリカ合衆国	1. 5. 21 ～1. 5. 26	国際農業経済学者会議幹部会議出席
友杉 孝	連合王国, タイ	1. 6. 18 ～1. 10. 15	比較の視点による都市に関する調査研究
猪口 孝	タイ	1. 7. 2 ～1. 7. 7	東南アジアの国際安全保障会議出席
福嶋 真人	タイ	1. 7. 8 ～1. 9. 20	上座部仏教圏における宗教と社会—東南アジア・雲南・スリランカの比較研究
宮嶋 博史	大韓民国	1. 7. 14 ～1. 8. 11	韓国の経済発展に関する歴史的研究に関する調査
原 洋之介	パングラディッシュ	1. 7. 19 ～1. 8. 2	農村人口と農業に関する調査
小倉 泰	インド	1. 7. 30 ～1. 8. 17	アジャンター石窟調査及び寺院建築に関する資料調査

IV 研究活動

上村 勝彦	インドネシア	1. 8. 2 ～1. 8. 7	仏教・ヒンドゥー教遺跡調査研究
林 佳世子	トルコ, エジプト, モロッコ, アルジェ リア, チュニジア	1. 8. 12 ～1. 9. 25	北アフリカ地域における街区 の調査
後藤 明	トルコ, モロッコ, アルジェリア, チュ ニジア, エジプト	1. 8. 15 ～1. 9. 20	トルコ, 北アフリカ地域にお ける街区の調査
鈴木 董	トルコ	1. 8. 16 ～1. 9. 3	国際トルコ社会経済史会議出 席及びオスマン帝国史に関す る資料調査
関本 照夫	マレーシア, インド ネシア	1. 8. 21 ～1. 9. 15	農村部における社会経済変動 と文化変容に関する調査研究
宮嶋 博史	朝鮮民主主義人民共 和国	1. 8. 22 ～1. 9. 4	朝鮮民主主義人民共和国の歴 史研究状況の調査, 研究者と の交流と資料調査
黒木 英充	トルコ, シリア	1. 8. 24 ～1. 9. 17	シリア及びトルコ南東部諸都 市における宗教施設の配置の 研究
原 洋之介	パキスタン, ネパー ル	1. 8. 25 ～1. 9. 10	経済開発と経済成長に関する 調査研究
山田 三郎	グアテマラ	1. 9. 5 ～1. 9. 16	農林水産業開発の動向と問題 点に関する調査研究
松谷 敏雄	連合王国, シリア	1. 9. 16 ～1. 10. 15	西アジア先史遺跡調査の調査 総括
猪口 孝	アメリカ	1. 10. 2 ～1. 10. 6	「1992年」研究計画セミナー での論文発表
原 洋之介	インドネシア	1. 10. 8 ～1. 10. 12	日本インドネシア科学技術 フォーラム会議
池田 温	中華人民共和国	1. 10. 10 ～1. 10. 22	中国唐史学会(国際唐史学術 会議)参加及び関連資料調査
小島 毅	中華人民共和国	1. 10. 12 ～2. 6. 25	宗代政治思想史に関する調査 研究
田仲 一成	中華人民共和国	1. 10. 17 ～1. 11. 6	東アジアにおける農村祭祀演 劇の比較研究予備調査
宮嶋 博史	大韓民国	1. 10. 22 ～1. 11. 4	植民地期朝鮮の水利組合関係 資料の蒐集



戸田 禎佑	台湾	1.11.10 ～1.11.24	台北故宮博物院所蔵品の中央 研究院との共同調査
小川 裕充	中国(台湾)	1.11.10 ～1.11.24	台北故宮博物院所蔵品の中央 研究院との共同調査
加納 啓良	インドネシア	1.11.14 ～1.11.21	1987/88年度合同研究報告会 への参加およびガジャダマ大 学農村地域社会開発研究セン ターとの共同研究打合せ
関本 照夫	インドネシア	1.11.16 ～1.11.26	1987/88年度合同研究報告会 への参加およびアンダラス大 学において研究打合わせ
原 洋之介	マレーシア	1.11.24 ～1.11.28	日本・東南アジア関係に関す る国際会議に出席
林 佳世子	エジプト, トルコ, イスラエル, ドイ ツ, ユーゴスラビア	1.12.1 ～2.9.30	オスマン朝期の西アジアにお ける都市社会の研究
猪口 孝	インド	1.12.7 ～1.12.20	日本の現代社会・政治に関す る研究会出席
濱下 武志	タイ, シンガポー ル, インドネシア	1.12.12 ～1.12.22	東南アジア圏のムスリム社会 の形成と変容に関する実地調 査
鈴木 董	タイ, シンガポー ル, インドネシア	1.12.12 ～1.12.22	東南アジア圏のムスリム社会 の形成と変容に関する実地調 査
田仲 一成	中華人民共和国	2.1.5 ～2.1.13	平成元年度国際学術研究「東 アジアにおける農村祭祀演劇 の比較研究」調査
濱下 武志	シンガポール	2.1.6 ～2.1.12	儒教における人間主義と近代 化に関する国際会議参加
宮嶋 博史	大韓民国	2.1.15 ～2.1.19	土地調査事業の事例分析準備 討論会に出席
猪口 孝	オーストラリア	2.2.3 ～2.2.10	豪州・日本・ソ連との太平洋 経済関係東南アジアの変動に 関する会議出席
板垣 雄三	インド, エジプト, ギリシャ, オマーン	2.2.4 ～2.3.11	平成元年度「世界青年の船」 事業に団長として参加
加納 啓良	タイ, ネパール, パ キスタン	2.2.12 ～2.2.26	貧困対策政府開発援助の問題 に関する現地調査

#### IV 研究活動

山田 三郎	タイ、ベトナム、 インドネシア、フィリ ピン	2. 2. 15 ～2. 3. 23	経済開発・構造調整政策に対 するイスラム社会、非イスラ ム社会の対応の比較調査
友杉 孝	スリランカ、タイ	2. 2. 16 ～2. 3. 9	東南アジア・南アジアの地方 都市の実態調査
猪口 孝	シンガポール	2. 2. 21 ～2. 2. 24	アジアにおける政治継承に関 する会議出席
蜂屋 邦夫	中華人民共和国	2. 3. 1 ～2. 12. 31	中国思想史に関する学術研究
猪口 孝	中華人民共和国	2. 3. 8 ～2. 3. 12	日中政治学学術交流会出席
猪口 孝	デンマーク	2. 3. 17 ～2. 3. 31	国際政治の比較に関する調査 研究
濱下 武志	中国人民共和国、 香港、タイ、シンガ ポール	2. 3. 31 ～2. 5. 10	中国と東南アジアの経済関係 史に関する調査
原 洋之介	インドネシア	2. 3. 21 ～2. 3. 25	アジアの人口と開発に関する 国際会議に出席



## G 外国人研究員等・内地研究員(昭和63・平成元年度)

### 〔外国人研究員等〕

氏名(国籍・現職)	期 間	研究課題	担当教官
Cheryl A. Silverman (米国 コロンビア大学博士課程)	61. 7. 1～63. 11. 30	ユダヤ人アイデンティ ティーの研究	板垣 雄三
Miwa Stevenson (米国 コロンビア大学博士課程)	63. 4. 11～63. 12. 31	東アジア古代壁画研究	戸田 禎佑
罗 肇 鴻 (中国 中国社会科学院世界経済政治研究所副所長)	63. 5. 7～63. 5. 21	ソ連とヨーロッパの比 較経済	猪口 孝
韓 鎮 涉 (中国 中国社会科学院世界経済政治部アジア研究室主任)	63. 5. 7～63. 5. 21	アジア, 太平洋経済	猪口 孝
Ingrid C. Larsen (米国 ミシガン大学博士課程)	63. 5. 19～63. 6. 24	黄慎研究	戸田 禎佑
Martani Huseini (インドネシア インドネシア大学社会政治学部講師)	63. 5. 20～63. 7. 16	都市化の社会文化的影 響の比較研究ーインド ネシアと日本ー	原 洋之介
Richard von Glahn (米国 UCL A大学助教授)	63. 7. 1～1. 9. 1	明清時代江南職人と都 市文化	斯波 義信
許 雪 姫 (台湾 中央研究院近代史研究所副研究員)	63. 9. 1～1. 8. 31	文官総督統治下の台湾 (1919～1936)	濱下 武志
金 鐸 敏 (大韓民国 朝鮮大学校人文科学大学助教授)	63. 9. 1～1. 8. 31	中国古代土地制度, 特に均田制研究	池田 温
Sherman Cochran (米国 コーネル大学歴史学部長)	63. 10. 1～63. 11. 30	中国における日本企業 ー市場戦略と商業的進 出1895～1945ー	濱下 武志
Keehn Edward Barry (米国 カルフォルニア大学バークレー校博士課程)	63. 10. 7～1. 10. 6	日本の政治における官 僚制度の役割ー省間の 競争, 調整, 同盟支配 のパターンー	猪口 孝

#### IV 研究活動

- |  |                       |                                 |       |
|--|-----------------------|---------------------------------|-------|
| Vladimir Leschke<br>(ソ連 ソ連科学アカデミー世界経済国際関係研究所研究員) | 63. 10. 21～63. 12. 5  | 日本政治の新しい動向                      | 猪口 孝  |
| Emile A. Nakhleh<br>(米国 マウントセントメアリーズ大学教授)        | 63. 12. 15～63. 12. 22 | 湾岸戦争における都市問題                    | 板垣 雄三 |
| Harriet T. Zurndorfer<br>(米国 オランダライデン大学漢学研究院助教授) | 63. 12. 16～1. 1. 31   | 日本における中国史学史の研究(1800-1980)       | 濱下 武志 |
| Kleeman F. Terry<br>(米国 ペンシルバニア大学助教授)            | 1. 1. 1～1. 11. 30     | 甲骨・金文資料による殷周時代の倫理思想の展開          | 松丸 道雄 |
| Felix Klein Franke<br>(西ドイツ エルサム・ヘブライ大学教授)       | 1. 1. 23～1. 1. 29     | イスラムの都市的性格                      | 板垣 雄三 |
| 陳 徳 述<br>(中国 四川省社会科学院文化研究所所長)                    | 1. 1. 27～1. 2. 25     | 中国明清思想史の研究                      | 蜂屋 邦夫 |
| 卿 希 泰<br>(中国 四川大学宗教学研究所所長)                       | 1. 1. 27～1. 3. 2      | 中国道教史の研究                        | 蜂屋 邦夫 |
| 魏 加 寧<br>(中国 中国国务院発展研究センター研究員)                   | 1. 1. 27～2. 3. 31     | 経済発展における政府の役割                   | 猪口 孝  |
| Kevin J. Tuite<br>(米国 シカゴ大学大学院助手)                | 1. 2. 20～3. 2. 14     | グルジア山岳部族の民族と神話                  | 後藤 明  |
| Ellermeier, T. J.<br>(米国 ハーバード大学博士課程)            | 1. 4. 13～2. 3. 31     | 宋代医療史(疫病)                       | 斯波 義信 |
| Bator Gol Ahmad<br>(アフガニスタン)                     | 1. 4. 27～1. 9. 14     | 1980年代のアフガニスタンの政治と社会            | 板垣 雄三 |
| 姜 成 求<br>(大韓民国 韓国文化放送理事)                         | 1. 4. 28～2. 3. 31     | 韓半島平和統一実現の常為性とその見通し             | 猪口 孝  |
| Farchan Bulkin<br>(インドネシア インドネシア大学講師)            | 1. 5. 24～1. 7. 23     | 日本とインドネシアの政治経済関係および両国の政治構造の比較研究 | 加納 啓良 |
| Abu-Sharif, Bassam<br>(パレスチナ アラファト大統領特別顧問)       | 1. 6. 1～1. 6. 15      | パレスチナ問題と国際政治                    | 板垣 雄三 |



李 遠 国 (中国 四川省社会科学院哲学研究所助理研究員)	1. 6. 13~1. 7. 17	中国道教史—日本における道教研究の現状について—	蜂屋 邦夫
Ravan A. G. Farhadi (アフガニスタン カルフォルニア大学助教授)	1. 6. 19~1. 6. 30	アフガニスタン文化とイスラムの都市性	板垣 雄三
David Wolff (米国 カルフォルニア大学博士課程)	1. 7. 1~2. 12. 31	1897~1917年満洲におけるロシア	濱下 武志
曹 章 祺 (中国 上海科技管理干部学院副教授)	1. 8. 30~2. 2. 28	言語を通してみた中国文化と日本文化との比較研究	蜂屋 邦夫
姚 栄 涛 (中国 復旦大学講師)	1. 9. 4~2. 8. 31	中国日本法制交流史	池田 温
Yahya Muhaimin (インドネシア ガジャマダ大学社会政治学部副学部長)	1. 9. 16~1. 12. 15	日本の官僚機構における政治文化	猪口 孝
Sadria Modjtaba (カナダ ケベック大学助教授)	1. 10. 1~2. 3. 31	日本の中東政策	板垣 雄三
Gyanendra Pandey (インド デリー大学教授)	1. 10. 11~1. 10. 29	英領期南アジアの都市形成と都市諸階層	柳澤 悠
Suzuki Takaaki (米国 コロンビア大学博士課程)	1. 10. 13~2. 11. 14	日本の財政政策に対する国際的圧力と国内的規制要因	猪口 孝
Anne L. Emig (米国 コロンビア大学博士課程)	1. 10. 29~2. 10. 28	日本の対外援助と責任分担	猪口 孝
姜 聞 然 (中国 カナダカールトン大学博士課程)	1. 11. 10~2. 11. 9	中曽根政権期における日本の対中国政策	猪口 孝
韓 昇 (中国 厦門大学講師)	2. 1. 26~3. 1. 25	3~10世紀における中国と日本の交渉史及び比較史	池田 温
池 培 善 (大韓民国 漢城大学副教授)	2. 3. 1~3. 2. 27	十六国, 北朝時代史	池田 温
Jeou Yi Yang (台湾 ハーバード大学博士課程)	2. 3. 1~2. 6. 30	清代塩政史—華中・華北における塩の密売について—	濱下 武志

#### IV 研究活動

丁 日 初 2. 2. 27 ~ 2. 3. 29 中国近代經濟史—洋務 濱下 武志  
(中国 上海社会科学院經濟研究所研究員) 期の日中対比

[内地研究員]

阿部 泰記 (山口大学人文学部助教授)

研究課題 中国近世小説の研究

担当教官 田仲教授 期間63. 9. 1 ~ 1. 2. 28

野口 一雄 (熊本大学文学部助教授)

研究課題 中国目録学

担当教官 田仲教授 期間63. 9. 1 ~ 2. 2. 28

鶴園 裕 (金沢大学教養部助教授)

研究課題 李朝末期の社会、經濟を含む文化史的研究

担当教官 宮寫助教授 期間1. 9. 1 ~ 2. 2. 28



## H 研究報告

### 1. 東洋文化研究所紀要

第107冊（昭和63年10月）

宋代天譴論の政治理念 小島 毅

俗曲集『掛枝兒』について

——馮夢龍『山歌』の研究・補説 大木 康

農業関連産業発展要因の国際比較

——アジア地域の事例—— 藤田 夏樹

一九世紀イランにおける貿易の展開と社会経済構造の

変容 I 後藤 晃

太平洋南西部における地域紛争と国際関係

——イリアン・ジャヤと東チモール—— 土佐 弘之

ĀNANDA VARDHANA 作

DHVANY ĀLOKA 訳注（第一章第二章） 上村 勝彦

第108冊（平成元年2月）

蕭山県長河鎮来姓祠産簿剖析

——清代浙東宗族における祠産形成と組織統合の過程—— 田仲 一成

譚長真の生涯と思想

蜂屋 邦夫

郊祀制度の変遷

小島 毅

四、五世紀の高句麗の瓦に関する若干の考察

——墳墓発見の瓦を中心として—— 谷 豊信

ゴール(Galle)スリランカー地方商業都市の肖像イメージ（三）

#### IV 研究活動

——都市誌の試み——

友杉 孝

サンスクリット詩における借用(harana)の問題

上村 勝彦

#### 第109冊（平成元年3月）

一九四七年インド独立法の研究（二）

山崎 利男

ゴール(Galle)スリランカー地方商業都市の肖像<sup>イメージ</sup>（四）

——都市誌の試み——

友杉 孝

マレー半島のジャワ人移民社会

——サバ・ブルナム調査ノート——

関本 照夫

先周青銅器試探

武者 章

周王朝と「成」の構造について

——「成周」はなぜ「成」周と呼ばれたか——

豊田 久

唐宋を中心とした飲茶法の變遷について

高橋 忠彦

宋代の楽律論

小島 毅

一九世紀中葉エジプトにおける税制度

——その3、土地税——

加藤 博

カシュカシヨクⅡ号丘の発掘——一九八七年——

松谷 敏雄

#### 第110冊（平成元年10月）

殷代貞卜言語の本質

高嶋 謙一

律令収取制度の特質——日唐賦役令の比較研究——

大津 透

クラシェーカラ作『タパティール・サンヴァラナ』

上村 勝彦

#### 第111冊（平成2年2月）

粵東天地会の組織と演劇

田仲 一成

物言えぬものの主張——近代イランにおけるシーア派

モジュタヘドの立憲思想——

八尾師 誠



南インドのヒンドゥー寺院の象徴性 (一)

——Pādma Saṃhitāに於ける寺院建築の過程と儀礼—— 小倉 泰  
ジャワ村落史の検証——ウンガラン郡のフィールドから—— 加納 啓良  
Institutional Economics Approach to Economic  
Development——Implications from the Studies of  
Japan's Modern Economic Growth—— Yonosuke Hara

第112冊 (平成2年3月)

『論語』前漢期實態一斑初探——重複章を手がかりに—— 澤田多喜男  
平壤土城里発見の古式の高句麗瓦当について 谷 豊信

「京北班田図」の基礎的研究

——日本古代田図の調査と史料学—— 石上 英一  
清代禁書——その著者たちの思考—— (下) 岡本 さえ  
光復会成立前後の事情——光復会論の (一) —— 大里 浩秋

VIJAYANAGAR NAYAKAS IN CHINGLEPUT

DISTRICT INSCRIPTIONS Noboru Karashima  
A Study of the Copulas in Shang Chinese Ken-ichi Takashima  
山崎利男教授略歴・主要著作目録

## 2. 東洋文化

第69号 (平成元年3月) 特集 “アジア都市の諸相”

——比較都市論にむけて——

### I 景観と構造

現代都市バンコクの景観にみられる記憶の表象

——貨幣・仏教・王権—— 友杉 孝

「水の都」の空間構造——アムステルダム, ヴェネツィア,

IV 研究活動

蘇州、東京の比較都市——

陣内 秀信

II 都市建設

ヤン・ピーテルスゾーン・クーンとバタヴィアの建設

生田 滋

イスラム都市の慈善施設「イマーレット」の生活

林 佳世子

III 社会関係と経済生活

1930年代寧波の都寧人口

斯波 義信

都市騒乱に見る社会関係——アレppo・1850年——

黒木 英充

IV 民俗宗教と芸能

芸能史からみた中国都市と農村の交流——一つの試論——

大木 康

マニラ近郊町における聖週間儀礼

——キリスト受難の追体験をめぐる——

清水 展

第70号（平成2年1月）特集“中国における仏教の受容と影響”

『大阿弥陀経』の思想史的意義

丘山 新

道生における法華経の構成把握について

菅野 博史

劉俊と「山棲志」——仏教への距離——

松岡 榮志

韓愈「性情三品説」小考

——唐代における儒教の変容と純化の過程——

末岡 実

唐詩にみる唐代の茶と仏教

高橋 忠彦

仏性説の淵源

末木文美士

四川大足道教石刻概述

李 遠 国

3. 東洋文化研究所研究報告（\*在庫なし）

\* 1. 仁井田 陞『中国の農村家族』1952

\* 2. 周藤 吉之『中国土地制度史研究』1954

\* 3. 泉靖一・斉藤廣志『アマゾン その風土と日本人』1954



- \* 4. 大林 太良『東南アジア大陸諸民族の親族組織』1955
- \* 5. 結城 令聞『世親唯識の研究 上』1956
- \* 6. 関野 雄『中国考古学研究』1956
- \* 7. 窪 徳忠『庚申信仰』1956
- \* 8. 江上波夫他『館址 東北地方における集落址の研究』1958
- \* 9. 仁井田 陞『中国法制史研究 刑法』1959
- \* 10. 仁井田 陞『中国法制史研究 土地法・取引法』1960
- \* 11. 米澤 嘉圃『中国絵画史研究』1961
- \* 12. 結城 令聞『唯識学典籍志』1962
- \* 13. 仁井田 陞『中国法制史研究 奴隷農奴法・家族村落法』1962
- 14. 築島 謙三『文化心理学基礎論』1962
- \* 15. 窪 徳忠『庚申信仰の研究 年譜篇』1962
- \* 16. 仁井田 陞『中国法制史研究 法と慣習・法と道德』1964
- \* 17. 鎌田 茂雄『中国華嚴思想史の研究』1965
- \* 18. 江上 波夫『アジア文化史研究 要説篇』1965
- 19. 泉 靖一『濟州島』1966
- 20. 江上 波夫『アジア文化史研究 論考篇』1967
- \* 21. 鈴木 敬『明代絵画史研究 浙派』1968
- \* 22. 窪 徳忠『庚申信仰の研究 島嶼篇』1969
- \* 23. 中根 千枝『家族の構造 社会人類学的分析』1970
- \* 24. 窪 徳忠『沖縄の習俗と信仰』1971
- \* 25. 川野 重任『農業発展の基礎条件』1972
- \* 26. Nakamura Kojiro, *Ghazali on Prayer* 1973
- \* 27. 窪 徳忠『増訂 沖縄の習俗と信仰』1974
- \* 28. 鎌田 茂雄『宗密教学の思想史的研究』1975
- 29. 松井 透『北インド農産物価格の史的研究 1861~1921年』1977
- \* 30. 荒 松雄『インド史におけるイスラム聖廟 宗教権威と支配権

#### IV 研究活動

力』1977

- \*31. 池田 温『中国古代籍帳研究 概観・録文』1979
- \*32. 田仲 一成『中国祭祀演劇研究』1981
- 33. 松丸 道雄『東京大学東洋文化研究所蔵甲骨文字 図版篇』1983
- \*34. 田仲 一成『中国の宗族と演劇 華南宗族社会における祭祀組織・儀礼及び演劇の相関構造』1985
- \*35. 鎌田 茂雄『中国の仏教儀礼』1986
- \*36. 松井 透『イギリス支配とインド社会 19世紀前半北インド史の一研究』1987
- \*37. 鎌田 茂雄『新羅仏教史序説』1988
- \*38. 斯波 義信『宋代江南経済史の研究』1988
- 39. 田仲 一成『中国郷村祭祀研究 地方劇の環境』1989
- 40. 濱下 武志『中国近代経済史研究 清末海関財政と開港場市場圏』1989
- 41. 上村 勝彦『インド古典演劇論における美的経験 Abhinavagupta のrasa 論』1990

#### 4. 東洋文化研究所叢刊

- \* 1. 鎌田 茂雄『華嚴学研究資料集成』1983
- 2. 深井 晋司編『ターク・イ・ブスターンⅢ 実測図集成』1983
- \* 3. 鎌田 茂雄『禅典籍内華嚴資料集成』1984
- 4. Nakane Chie ed., *Social Sciences and Asia*, 1984
- \* 5. 蜂屋 邦夫編『儀禮士冠疏』1984
- \* 6. 鎌田 茂雄『道蔵内仏教思想資料集成』1986
- 7. 山田 三郎編『中部タイ稲作農村の経済変容』1986
- \* 8. 蜂屋 邦夫編『儀禮士昏疏』1986



\* 9. Seki Hiroharu, *The Asia-Pacific in the Global Transformation*, 1987

10. 蜂屋 邦夫編『中国道教の現状 道士・道協・道観』1990

11. 池田 温『中国古代寫本識語集録』1990

## 5. イラク・イラン遺跡調査団報告

『テル・サラサート I』\*1958, 『同 II』\*1970, 『同 III』1975, 『同 IV』1981

『マルヴ・ダシュト I』\*1962, 『同 II』\*1962, 『同 III』1973

『ファハリアン I』\*1963

『西アジアの人類学的研究 I』\*1963, 『同 II』\*1968

『デーラマン I』\*1965, 『同 II』\*1966, 『同 III』\*1968, 『同 IV』1971

『ターク・イ・ブスターン I』\*1969, 『同 II』\*1972, 『同 III』1983, 『同 IV』1984

『ハリメジャン I』1980, 『同 II』1982

## 6. インド史跡調査団報告

『デリー：デリー諸王朝時代の建造物の研究』第 I 卷 遺跡総目録

\*1967, 第 II 卷 墓建築 \*1969, 第 III 卷 水利施設 \*1970

## 7. 東アジア部門美術研究分野報告

『中国絵画総合図録』第一卷 アメリカ・カナダ篇 1982, 第二卷 東南

アジア・ヨーロッパ篇 \*1982, 第三卷 日本篇 I 博物館 \*1983,

第四卷 日本篇 II 寺院・個人 \*1983, 第五卷 総索引 \*1983

#### IV 研究活動

##### 8. 蔵書目録

『東洋文化研究所漢籍分類目録』 \*1973

『東洋文化研究所漢籍分類目録 書名人名索引』 \*1975



# I 個人研究業績

## 汎アジア部門

山田 三郎

- 1974 「アジア農業の生産性と生産構造——マクロ計量的国際比較分析」『紀要』63
- 1975 *A Comparative Analysis of Asian Agricultural Productivities and Growth Patterns*, Asian Productivity Organization, Tokyo.
- 1981 「経済発展における普遍性と地域特性——アジア諸国経済発展の比較, 1960~78年」『紀要』87
- 1982 『食糧需要の将来と農業政策』（アジア開発の経験と展望Ⅱ）（編著）アジア経済研究所
- 1982 *Labour Absorption and Growth in Agriculture, China and Japan*, coauthored with S. Ishikawa & S. Hirashima, International Labour Organization, Asian Employment Programme, Bangkok.
- 1984 “The Role of Traditional Elements and Sectors in Economic Development”, C. Nakane ed., *Social Sciences and Asia*, 東洋文化研究所
- 1986 『中部タイ稲作農村の経済変容』（共著）東洋文化研究所
- 1987 “Agricultural Growth and Productivity in Selected Asian Countries” S. Yamada and D. Cruz, eds., *Productivity Measurement and Analysis: Asian Agriculture*, Asian

IV 研究活動

Productivity Organization, Tokyo.

1988 『食料経済』（編著）建帛社

1991 *Japanese Agriculture: A Comparative Economic Analysis*,  
(with C.L.J van der Meer), Routledge, London and New  
York.

原 洋之介

1985 『クリフォード・ギアツの経済学』リプロポート

1985 「タイ国における工業化戦略と労働市場」渡辺利夫編『アジア諸  
国経済発展の機構と構造』アジア経済研究所

1986 『中部タイ稲作農村の経済変容』（共著）東洋文化研究所

1986 「東南アジアにおける高度経済成長——タイ国を事例として」  
原洋之介編著『東南アジアからの知的冒険』リプロポート

1986 「商人国家アユタヤ王朝仮説について」原洋之介編著『東南アジ  
アからの知的冒険』リプロポート

1987 「タイにおける就業構造」『紀要』104

1988 「アジアの経済発展と経済理論」『経済セミナー』1988年1月号

1988 「近代日本農業発展と現代アジア諸国への関連性」黒田俊夫編  
『日本の人口政策と農業政策：その教訓』アジア人口開発協会

1989 「イスラーム経済論の方法——パキスタンを事例にして」重点領  
域研究 イスラームの都市性研究報告 第31号

1990 「アジア5ヵ国農業発展の比較」川野重任編『アジア諸国の農業  
開発』アジア人口開発協会

猪口 孝

1978 『外交態様の比較研究——中国・英国・日本』巖南堂書店

1982 『国際政治経済の構図——戦争と通商にみる覇権盛衰の軌跡』有



- 斐閣; (『21世紀国際政治経済的結構』渤海堂(台北)1988年)
- 1983 『現代日本政治経済の構図——政府と市場』東洋経済新報社
- 1985 『社会科学入門』中央公論社
- 1985 『国際関係の政治経済学——日本の役割と選択』東京大学出版会
- 1986 『日本人の選挙行動』東京大学出版会(共著)
- 1987 『族議員の研究——自民党政権を牛耳る主役たち』日本経済新聞社(共著)
- 1987 『ただ乗りと一国繁栄主義をこえて——転換期の世界と日本』東洋経済新報社
- 1988 *The Political Economy of Japan: The Changing International Context*, Stanford University Press (co-editor)
- 1988 『国家と社会』(「現代政治学叢書」第1巻)東京大学出版会;  
『国家与社会』(中国版 1989)経済日報出版社

#### 田中 明彦

- 1982 「中国の国際紛争行動のマクロ・モデル 1950-1978」『アジア研究』(第29巻第1号)
- 1983 「政策決定のシミュレーション——中国」『国際政治』第74号
- 1983 「『教科書問題』をめぐる中国の政策決定」岡部達味編『中国外交——政策決定の構造』日本国際問題研究所
- 1984 「アメリカの対中政策」『海外事情』第32巻第2号
- 1984 「国際秩序とその安定——試論」『社会科学紀要』33
- 1986 A・ドーク・バーネット『現代中国の外交——政策決定の構造とプロセス』(伊豆見元氏と共訳)教育社
- 1988 「日米経済関係の政治過程」『国際問題』第337号
- 1988 「日本の対中国政策決定——組織と過程」『東亜』No. 255
- 1989 「日本外交と国内政治の連関——外圧の政治学」『国際問題』

IV 研究活動

第348号

1989 『世界システム』（「現代政治学叢書」第19巻）東京大学出版会

友杉 孝

- 1983 「タイ農村社会における市場とその多義性——比較経済体制論に向けて」『東洋文化』63号
- 1983 『新開地における社会形成と農協——北海道深川の事例』国際連合大学
- 1984 「自然としての土地から商品としての土地へ——市場経済の発展を可能とした日本の条件」玉城哲・旗手勲・今村奈良臣編  
『水利の社会構造』東京大学出版会
- 1984 「貨幣の象徴性について——社会科学における象徴論」青木保編  
『象徴人類学』至文堂
- 1987 「ゴール(Galle)スリランカー地方商業都市の肖像（一）——都市誌の試み」『紀要』104
- 1988 「ゴール(Galle)スリランカー地方商業都市の肖像（二）——都市誌の試み」『紀要』105
- 1988 「商品の系譜——インド、スリランカ、日本の事例より」青木保・黒田悦子編『儀礼——文化の形式的行動』東京大学出版会
- 1989 「ゴール(Galle)スリランカー地方商業都市の肖像（三）——都市誌の試み」『紀要』108
- 1989 「ゴール(Galle)スリランカー地方商業都市の肖像（四）——都市誌の試み」『紀要』109
- 1989 『現代都市バンコクの景観にみられる記憶の表象——貨幣・仏教・王権』『東洋文化』69号



岡本 サエ

- 1976 「式臣論」『紀要』68  
1977 / 90 「清代禁書——その著者たちの思考」『紀要』73, 112  
1981 「17世紀における中国の異端」『比較思想研究』8  
1987 「明清思想対西欧文化輸入的認識特点」『湖南大学学报』14-1  
1987 「気——中西思想交流の一争点」『東洋文化』67号  
1988 「倭国器と清初の江南」『紀要』106  
1989 「環境への眼差し——中国人の思想空間」『文学空間』桜楓社

関本 照夫

- 1982 「サウイト事件の文化論的考察」鈴木中正編『千年王国的民衆運動の研究』東京大学出版会  
1982 「ジャワ聖墓巡礼考——イスラームと土着的伝統主義」中牧弘充編『神々の相克』新泉社  
1986 『人類学的歴史とは何か』関一敏編・川田順造・野村雅一・福井勝義と共著、海鳴社  
1986 「村の国家行事」原洋之介編著『東南アジアからの知的冒険』リポート  
1986 「ジャワ神秘主義の民族誌」『国立民族学博物館研究報告』11-2  
1987 「東南アジア的王権の構造」伊藤・関本・船曳編『現代の社会人類学』第3巻、東京大学出版会  
1988 「フィールドワークの認識論」伊藤幹治・米山俊直編『文化人類学へのアプローチ』ミネルヴァ書房  
1989 「マレー半島のジャワ人移民社会——サバ・ブルナム調査ノート」『紀要』109  
1989 「ジャワにおける儀礼と食物——スラムタン儀礼の供物の象徴性」松原正毅編『人類学とは何か——言語・儀礼・象徴・歴史』

#### IV 研究活動

日本放送出版協会

- 1989 「人類学にできること」田辺繁治編『人類学的認識の冒険——イデオロギーとプラクティス』同文館

#### 福嶋 真人

- 1986 「ジャワ農村における村長選挙とネットワーク」『アジア経済』27-6
- 1986 「イスラム・リーダーにおける信念と演技——ジャワ伝統派イスラム、意識とその変容」『季刊人類学』17-3
- 1987 「閉ざされた言語——サミン運動とその言語哲学」『東南アジア研究』24-4
- 1987 「内なる王国を求めて——ジャワ農民運動（サミン運動）に於ける権力否定とその帰結」『アジア・アフリカ言語文化研究』33
- 1987 'Kebatinan Mystical Sects and the Meaning of Spirit Possession in Javanese Culture' *Man and Culture in Oceania* Vol. 3
- 1988 「内面と力——ジャワ神秘主義と伝統的政治モデル」『民族学研究』52-4
- 1988 「書評 J. T. シーゲル著 『新体制下のソロ——インドネシアの都市における言語とヒエラルキー』」『アジア経済』29-10
- 1989 「馮依の解釈学」『文化人類学』6 アカデミア出版社
- 1990 「サミンからサンティ・アソックへ」『日本オセアニア学会 Newsletter』



東アジア部門(第一)

斯波 義信

- 1960 『宋史食貨志訳註(一)』(共著) 東洋文庫
- 1968 『宋代商業史研究』風間書房(*Commerce and Society in Sung China*, trl. by Mark Elvin, 1970, Ann Arbor, Michigan.)
- 1974 「宋代市糶制度の沿革」『青山博士古稀記念宋代史論集』省心書房
- 1977 “Ningpo and Its Hinterland”, G.W.Skinner ed., *The City in Late Imperial China*, Stanford University Press, Stanford.
- 1982 『函館華僑関係資料集』大阪大学文学部(紀要22)
- 1983 “Song Foreign Trade, Its Scope and Organization”, M. Rossabi ed., *China Among Equals: The Middle Kingdom and Its Neighbors, 10th-14th Centuries*, The University of California Press, Berkeley and Los Angeles.
- 1983 「長江下游地区的水利系統」『歴史地理』3
- 1986 “Max Webers Beitrag zur Geschichte nicht-europäischer Gesellschaften: China”, Jürgen Kocka, hrsg., *Max Weber, der Historiker*, Vandenhoeck & Ruprecht.
- 1988 『宋代江南経済史の研究』東洋文化研究所
- 1989 「1930年代寧波の都鄙人口」『東洋文化』69号

濱下 武志

- 1986 「朝貢貿易システムと近代アジア」『国際政治』82
- 1986 「イギリス帝国経済と香港・中国」山田秀雄編『イギリス帝国経済と植民地』新評論

#### IV 研究活動

- 1987 「近代中国における『アジアとヨーロッパ』」『東洋文化』67号
- 1987 「資本主義、植民地体制的形成与亞洲——十九世紀五十年英国銀行資本侵入中国的過程」『中国近代經濟史論著選訳』張仲礼主編，上海社会科学院出版社
- 1988 「中国近代經濟史研究的課題」「附録：傳統經濟與現代化問題」『近代中国史研究通訊』第6期
- 1988 「現代中国と近代史研究——中国社会の理解に向けて」『中央大学アジア史研究』第12号
- 1989 「郷鎮企業と小城鎮——地域經濟の活力と民間社会」『東亞』No.259
- 1989 「東アジア国際体係」『講座国際政治①国際政治の理論』東京大学出版会
- 1989 『中国近代經濟史研究——清末海關財政と開港場市場圏』東洋文化研究所
- 1989 「中国の經濟と歴史——地域研究と中国經濟史」『地域研究と第三世界』慶應義塾大学地域研究センター編

#### 小島 毅

- 1986 「宋朝士大夫の研究をめぐって」『中国——社会と文化』1号
- 1988 「宋代天譴論の政治理念」『紀要』107
- 1989 「郊祀制度の変遷」『紀要』108
- 1989 「宋代の楽律論」『紀要』109
- 1990 「城隍廟制の確立」『思想』5月号

#### 池田 温

- 1959/60 「唐代の郡望表」『東洋学報』42-3, 4
- 1965 「8世紀中葉における敦煌のソグド人聚落」『ユーラシア文化研



究』1号

- 1968 「中国古代物価の一考察」『史学雑誌』77-1, 2
- 1971 「盛唐之集賢院」『北海道大学文学部紀要』19-2
- 1979 『中国古代籍帳研究 概観・録文』東洋文化研究所
- 1980 『敦煌の社会』（編）〈講座敦煌3〉大東出版社
- 1981 『大唐開元禮附大唐郊祀録』（編）（第二刷）汲古書院
- 1981 「中国歴代墓券略考」『紀要』86
- 1986 「〈唐令拾遺補〉編纂をめぐって」唐代史研究会編『律令制——中国朝鮮の法と国家』汲古書院
- 1990 『中国古代寫本識語集録』（編）東洋文化研究所

宮嶋 博史

- 1974 「朝鮮甲午改革以後の商業的農業」『史林』57-6
- 1976 「韓国における『民族史学』について」『歴史学研究』439号
- 1977 「李朝後期農書の研究」『人文学報』（京都大学人文科学研究所）43
- 1978 「朝鮮『土地調査事業』研究序説」『アジア経済』19-9
- 1980 「朝鮮農業史上における15世紀」『朝鮮史叢』3
- 1981 「李朝後期における朝鮮農法の発展」『朝鮮史研究会論文集』18集
- 1984 「朝鮮史研究と所有論」『人文学報』（東京都立大学人文学部）167号
- 1986 「朝鮮社会と儒教」『思想』750号
- 1987 「朝鮮半島の稲作展開」渡部忠世ほか編『稲のアジア史』第2卷, 小学館
- 1988 「量案から‘土地台帳’へ」『朝鮮民族運動史研究』5

川村 康

- 1987 「麴氏高昌国における土地売買についての一考察」『法研論集』（早稲田大学大学院法学研究科）41

#### IV 研究活動

- 1988/89 「宋代における養子法——判語を主たる史料として」『早稲田法学』64-1, 2

#### 松丸 道雄

- 1959 『甲骨文字』奎星出版部
- 1959/80 「日本散見甲骨会蒐彙」『甲骨学』7~12号
- 1963 「殷墟卜辞中の田獵地について」『紀要』31
- 1970 「殷周国家の構造」『世界歴史』第4巻 岩波書店
- 1980 『西周青銅器とその国家』（編）東京大学出版会
- 1982 『東京大学東洋文化研究所蔵・中国青銅器資料分類目録』第1冊  
殷・西周篇（持井康孝氏と共編）東洋文化研究所
- 1983 『東京大学東洋文化研究所蔵甲骨文字 図版篇』東洋文化研究所
- 1984 「西周後期社会にみえる変革の萌芽——罍鼎銘解釈問題の初歩的解決」『西嶋定生博士還暦記念——東アジア史における国家と農民』山川出版社
- 1985 『中国文明の成立』（共著）講談社
- 1989 「殷人の観念世界」『中国古文字と殷周文化』東方書店

#### 高嶋 謙一

- 1977 “Subordinate Structure in Oracle-Bone Inscriptions with Particular Reference to the Particle *Ch'i* 其,” *Monumenta Serica*, Vol. 33.
- 1978 “Decipherment of the Word *Yu* 有 in Oracle-Bone Inscriptions and Pre-Classical Chinese,” *Early China*, No. 4
- 1984 “Noun Phrases in the Oracle-Bone Inscriptions,” *Monumenta Serica* Vol. 36.
- 1985 『殷墟文字丙編通検』中央研究院歴史語言研究所



- 1985 “On the Quantitative Complement in Oracle-Bone Inscriptions,” *Journal of Chinese Linguistics*, Vol. 13, No. 1.
- 1985 “Nominalization and Nominal Derivation with Particular Reference to the Language of Oracle-Bone Inscriptions,” *Papers in East Asian Languages*, Vol. 2
- 1988 “Morphology of the Negatives in Oracle-Bone Inscriptions,” *Computational Analysis of Asian and African Languages*, No. 30
- 1988 「甲骨文の時代区分とその書蹟について」『書道研究』12
- 1989 「殷代貞ト言語の本質」『紀要』110
- 1990 “A Study of the Copulas in Shang Chinese.” 『紀要』112

## 東アジア部門(第二)

### 蜂屋 邦夫

- 1973 「范縝『神滅論』の思想について」『紀要』61
- 1979 「戴逵について——その芸術・学問・信仰」『紀要』77
- 1981 「言盡意論と言不盡意論」『紀要』86
- 1983 「太平経における言辞文書——共・集・通の思想」『紀要』92
- 1984 『儀禮士冠疏』(編) 東洋文化研究所
- 1985 『中国の思惟』法蔵館
- 1986 『儀禮士昏疏』(編) 東洋文化研究所
- 1987 「馬丹陽の布教活動をめぐって」『紀要』104
- 1988 「譚長真の生涯と思想」『紀要』108
- 1990 『中国道教の現状——道士・道協・道観(本文冊, 図版冊)』  
(編) 東洋文化研究所

IV 研究活動

丘山 新

- 1978 「『菩提心』漢訳考」『南都仏教』41号  
1980 「漢訳仏典に及ぼした中国思想の影響」『仏教思想史』2  
1983 「漢訳仏典の文体論と翻訳論」『東洋学術研究』22巻2号  
1984 「竺仏念」『仏教文化』学術増刊号14巻  
1985 「陳寅恪簡介」『東方』1号  
1986 「東晋期仏教における言語と真理」『東洋文化』66号  
1986 / 87 「大乘經典における〈共感〉の原理」『精神科学』25, 26号  
1987 「遊行経訳注」『アーガマ』80, 81号  
1988 「漢訳仏典論」『東アジアの仏教』岩波書店  
1990 「『大阿弥陀経』の思想史的意義」『東洋文化』70号

田仲 一成

- 1970 「南宋時代の福建地方劇について」『日本中国学会報』22号  
1972 “Development of Chinese Local Plays in the 17th and 18th Centuries”, *Acta Asiatica*, No. 23  
1973/87 「十五・六世紀を中心とする江南地方劇の変質について」『紀要』60, 63, 65, 71, 72, 102  
1977 “A Study on P'i-p'a chi in Hui-chou Drama—Formation of Local Plays in Ming and Ch'ing Eras and Hsin-an Merchants” *Acta Asiatica*, No. 32  
1981 『中国祭祀演劇研究』東洋文化研究所  
1981 「清代の会館演劇について」『紀要』86  
1985 『中国の宗族と演劇』東洋文化研究所  
1985 “The Social and Historical Context of Ming-Ch'ing Local Drama”, David Johnson, Andrew J. Nathan, & Evelyn S. Rawski eds., *Popular Culture in Late Imperial China*,



California University Press.

- 1989 『中国郷村祭祀研究——地方劇の環境』 東洋文化研究所  
1989 “The *Jiao* Festival in Hong Kong and the New Territories”, Julian F. Pas .ed., *The Turning of the Tide-Religion in China Today*, Oxford University Press.

### 丸尾 常喜

- 1977 「出発における『恥辱』（羞恥）の契機について——民族的自己批評としての魯迅文学」『北海道大学文学部紀要』25-2  
1978 「『恥辱』的存在の形象について——民族的自己批評としての魯迅文学その2」『北海道大学文学部紀要』26-2  
1981 『魯迅文言語彙索引』（共編）東洋文化研究所東洋学文献センター  
1983 「『呐喊』から『彷徨』へ——民族的自己批評としての魯迅文学その3」『北海道大学文学部紀要』31-2  
1983 「阿Q人名考——『鬼』の影像」『文学』51-2  
1984 『魯迅全集』2（共訳、『彷徨』分担）学習研究社  
1985 『魯迅』〈中国の人と思想 12〉集英社  
1986 「『孔乙己』についての覚え書」『伊藤漱平教授退官記念中国学論集』汲古書院  
1987 『中国小説の歴史的変遷——魯迅による中国小説史入門』（訳注）凱風社  
1987 「祝福と救済——魯迅における『鬼』」『文学』55-8

### 山之内正彦

- 1969 「李商隠表現考・断章——豔詩を中心として」『紀要』48  
1974 「落日と夕陽——唐詩における夕日の詩語初探」『紀要』63

#### IV 研究活動

- 1976 「孟郊詩論（上）——連作詩を中心に」『紀要』68  
1982 「桂——唐詩におけるその〈意味〉」『紀要』88  
1983 「桂——唐詩におけるその〈意味〉補遺」『紀要』92  
1988 『中国文学歳時記・春下』（共著）  
1989 『中国文学歳時記・秋上』（共著）

#### 戸田 禎佑

- 1983 『中国の花鳥画と日本』（小川裕充氏と共著）学習研究社  
1986 『静嘉堂 中国絵画』静嘉堂文庫  
1987 「色と光——水墨画発生メカニズムに関する一提言」『ミュージアム』439号  
1988 「葛叔英（松田）筆 栗鼠図」『国華』1110号  
1988 「所在不明の牧谿筆『花卉翎毛卷』をめぐって」『美術史論叢』2  
1988 「南宋院体画における『金』の使用について」『国華』1016号  
1989 「漢画系屏風絵について『室町時代の屏風絵』展カタログ」朝日新聞社  
1989 「雪舟研究に関する2, 3の問題」『日本絵画史の研究』  
1989 「牧谿筆『老子図』」『国華』1128号  
1989 「白衣観音図」『国華』1128号

#### 小川 裕充

- 1980 「唐宋山水画史におけるイマジネーション（上）（中）（下）」  
『国華』1034・1035・1036号  
1981 「雲山図論——米友仁『雲山図卷』とその系譜」『紀要』86  
1981 「院中の名画——董羽・巨然・燕肅から敦熙まで」『鈴木敬先生  
還暦記念 中国絵画史論集』吉川弘文館  
1983 『中国の花鳥画と日本』（戸田禎佑氏と共著）学習研究社



- 1986 「米友仁の絵画と文学」『美術史学』第8号
- 1986 「雲山図論続稿（上）（下）」『国華』1096・1097号
- 1987 「壁画における〈時間〉とその方向性」『美術史学』第9号
- 1988 「牧谿——古典主義の変容（上）」『美術史論叢』4
- 1989 「大仙院方丈襖絵考（上）（中）（下）」『国華』1120・1121・1122号
- 1989 「泉涌寺蔵 俊苧律師・南山大師・大智律師像（三幅）」  
山根有三先生古稀記念会編『日本絵画史の研究』吉川弘文館

### 林 秀 薇

- 1989 「梁楷研究——“黄庭經図巻”について」（東京大学大学院修士論文）

### 南アジア部門

#### 加納 啓良

- 1979 「ジャワ農村経済史研究の視座変換——『インボリューション』  
テーゼの批判的検討」（『アジア経済』20巻2号）
- 1979 『パグララン——東部ジャワ農村の富と貧困』（アジア経済研究  
所）
- 1981 『サワハン——「開発」体制下の中部ジャワ農村』（アジア経済  
研究所）
- 1981 「ダゲン——イスラーム・カルヤワンの村の社会経済構造」（東  
京大学経済学部『経済学論集』47巻3号）
- 1984 『植民地雑誌(*Koloniaal Tijdschrift*)所収論文目録』（大木昌氏  
と共編、東洋文化研究所東洋学文献センター）
- 1985 『内務省雑誌(*Tijdschrift voor het Binnenlandsch Bestuur*)  
所収論文・記事目録』（東洋文化研究所東洋学文献センター）
- 1986 『中部タイ農村の経済変容』（山田三郎氏らと共著、東洋文化研

IV 研究活動

究所)

- 1986 「オランダ植民地支配下のジャワ糖業——1920年代を中心に」  
『社会経済史学』51巻6号)
- 1988 『インドネシア農村経済論』(勁草書房)
- 1990 「ジャワ村落史の検証——ウンガラン郡のフィールドから」『紀要』111

柳澤 悠

- 1976 「南インドにおける地主=小作関係の展開」辛島昇編『インド史における村落共同体の研究』東京大学出版会
- 1979 「19世紀末南インドの農業生産と農業労働者」『横浜市立大学論叢』人文科学系列 30-2/3合併号
- 1979 「南インドにおける対『アウト・カースト』経済政策の展開」『経済と貿易』(横浜市立大学経済研究所) 127号
- 1980 「第一次日印会商をめぐる英印関係」『経済と貿易』(横浜市立大学経済研究所) 129号
- 1982 『南インド・カーヴェリ河流域の農村社会の史的变化』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 1985 *Socio-Economic Changes in a Village in the Paddy Cultivation Area in South India*, Institute for the Study of Languages and Cultures of Asia and Africa, Tokyo University of Foreign Studies.
- 1987 「インド——『社会主義型社会』と下層民衆の貧困」川田侃・石井摩耶子編『発展途上国の政治経済学』東京書籍
- 1988 『20世紀初め南インドにおけるカーストと土地保有構造の変動——ティルチラパッリ県22ヶ村の村落地税台帳分析』(水島司氏と共著)東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所



- 1989 “Mixed Trends in Landholding in Lalgudi Taluk:1895–1925,” *Indian Economic and Social History Review*, Vol. 26, No. 4
- 1990 「南インド手織物業の変容——若干の中小都市にみる」柳澤悠編『南アジア都市の諸問題』東洋文化研究所

上村 勝彦

- 1978 『屍鬼二十五話』〈東洋文庫 325〉平凡社
- 1980 『パンチャタントラ』(共訳)〈アジアの民話 12〉大日本絵画
- 1982 『インドの詩人』春秋社
- 1984 『カウティリヤ実利論』(上)(下)岩波文庫
- 1986 “Is the word *mukhyā-ur̥tti* synonymous with *abhidhā* according to *Bhṭṭa Lollāṭa*?” *The Adyar Library Bulletin*, Vol. 50.
- 1988 「Dhvanyāloka 第1, 2章訳注」『紀要』107
- 1988 “Who is Rājasimha in the ‘Bhāsa’s Plays?” *Journal of Indian Buddhist Studies*, Vol. 37 No. 1
- 1989 「クラシェーカラ作『タパティ・サンヴァラナ』『紀要』110
- 1989 「准提観音の起源」『東方』第5号
- 1990 『インド古典演劇論における美的経験——アビナヴァグプタの rasa 論』東洋文化研究所

小倉 泰

- 1985 「地獄と地藏菩薩」『ユーラシア』新2号
- 1985 「お地藏さんとこども——ひとつの文化変容」『比較文學研究』48号
- 1985 William Lafleur, Karma of the word: Buddhism and the

#### IV 研究活動

- Literary Arts in Medieval Japan. (書評)『比較文學研究』49  
1986 「『カルナの出生譚』訳注」(上)(下)『比較文学文化論集』3-4  
1990 「南インドのヒンドゥー寺院の象徴性(1)——*Pādma Samhitā*  
に於ける寺院建築の過程と儀礼」『紀要』111

#### 西アジア部門

##### 板垣 雄三

- 1963 「オラービー運動(1879-1882)の性格について」『紀要』31  
1968 「〈アラブ社会主義〉における *Tabaqa* (階級) 認識について」  
『アジア・アフリカ言語文化研究』1  
1971 「イスラム改革思想」『世界歴史』第21巻 岩波書店  
1974 『アラブの解放』(編著) 平凡社  
1978 『中東ハンドブック』(編著) 講談社  
1980 「アラブの政治文化と国民形成」『国民国家の形成と政治文化』  
岩波書店  
1984 『パレスチナ人とユダヤ人』(吉田悟郎氏と共編) 三省堂  
1987 『新アジア学』(荒木重雄氏と共編著) 亜紀書房  
1989 「アラブの心、イスラムの心」村上陽一郎編『心のありか』東京  
大学出版会  
1990 『交感するリビア——中東と日本を結ぶ』(江口朴郎氏と共編  
著) 藤原書店

##### 鈴木 董

- 1986/88 「スレイマン大帝時代オスマン朝の大宰相と宰相たち (一)(二)  
(三)」『紀要』101, 103, 106  
1987 「一八世紀初頭オスマン帝国の遣欧使節制度と『使節の書』



——ウィーン派遣大使シラフタール・イブラヒム・パシャの事例』『東洋文化』67号

- 1989 『イスラム国際体系』『講座国際政治』1, 東京大学出版会
- 1989 「バルカン史におけるオスマン朝史料の意義」『東欧史研究』12
- 1989 “Osmanlılarda Organik Bir Yapı olarak Toplum Görüşünün Gelişmesi,” *Gelişme Dergisi*, 14-4
- 1989 “Process of Tradisionalist Revolution in the Ottoman Imperial Capital,” *The Proceedings of International Conference on Urbanism in Islam, Supplement, Tokyo.*
- 1989 “The Governance Structure of the Ottoman Empire: A Comparative Historical Analysis,” *Senri Ethnological Studies*, 25
- 1990 「18世紀初頭オスマン朝の一官人の経歴について——パリ派遣大使イルミ・セキズ・ヒェレビィ・メフメット・エフェンディの場合」『日本オリエント学会創立35周年記念 オリエント学論集』（日本オリエント学会）
- 1990 「『近代軍』形成期のオスマン帝国における軍人と政治——1826～1908年」  
『政治学年報』1989年度『近代化過程における政軍関係』
- 1990 「オスマン帝国と対外的コミュニケーション」『世界史への問い』3 岩波書店

#### 松谷 敏雄

- 1969 「初期農耕村落の研究」『紀要』47
- 1972 「ピゼとチネ」『紀要』58
- 1973 *Maru-Dasht III* (編) 東洋文化研究所
- 1974 「西アジアの特異な石器 くサイド・ブロウ=ブレイド・フレイ

IV 研究活動

- ク>」『東洋文化』54号
- 1975 *Telul eth-Thalathat III* (編) 東洋文化研究所
- 1980 *Halimehjan I* (編) 東洋文化研究所
- 1981 *Telul eth-Thalathat IV* (編) 東洋文化研究所
- 1982 *Halimehjan II* (編) 東洋文化研究所
- 1986 「先史学」『日本の民族学』弘文堂
- 1989 「カシュカショクⅡ号丘の発掘——1987年」『紀要』109

羽田 正

- 1984 「コルチ考——16世紀イランの近衛兵制度」『史林』67-3
- 1984 「シャー・アッバースの改革とコルチ」『西南アジア研究』23
- 1984 “L'évolution de la garde royale des Safavides”, *Moyen Orient et Océan Indien*, 1
- 1985 「後期イスラム国家の支配——サファヴィー朝の場合」森本公誠編『講座イスラム2』筑摩書房
- 1987 「フーザーニー家の人々——東方イスラム世界における一家の歴史」『史学雑誌』96-1
- 1987 「メインダーンとバーク——シャー・アッバースの都市計画再考」『橘女子大学研究紀要』14
- 1987 *Le chāh et les Qizilbāš. Le système militaire safavide*, Berlin, Klaus Schwarz Verlag.
- 1988 「シャー・タフマースプのキジルバシ政策」『オリエント』30-2
- 1989 “La famille Hūzānī d' Iṣfahān (15-17e siècles)”, *Studia Iranica*, 18-1
- 1989 “Gāzāniyya in Tabrīz”, Proceedings of the International Conference on Urbanism in Islam.



後藤 明

- 1980 『ムハンマドとアラブ』東京新聞出版局
- 1981 「ヒジュラ前後のメディナの政情」『オリエント』23-2
- 1983 「自由都市メッカ」護雅夫編『内陸アジア・西アジアの社会と文化』山川出版社
- 1985 「ムハンマド伝の史料に関する覚書Ⅰ」『山形大学史学論集』5
- 1985 「『コーラン』にみえる預言者とその民」『東洋学報』66
- 1985 「『コーラン』にみえるウンマ」『三笠宮殿下古稀記念オリエント学論集』小学館
- 1985 「アラブ文化とイスラム」中村廣治郎編『講座イスラム1』筑摩書房
- 1987 「『ムハンマド』伝の史料に関する覚書Ⅱ」『山形大学史学論集』7
- 1987 「イスラームは歴史のなかで何を棄てたか」片倉もとこ編『人々のイスラーム』日本放送出版協会
- 1988 「ウマイヤ朝カリフ・マルワーンとマワーリー」『榎博士頌寿記念東洋史論叢』汲古書院

鎌田 繁

- 1977 「サッラージュの神秘階梯説」『オリエント』20-1
- 1979 「サッラージュによるスーフィーの理想的生活について」『日本オリエント学会創立25周年記念オリエント学論集』刀水書房
- 1982 “Nābulusi’s Commentary on Ibn al-Fārid’s *Khamrīyah*”, *Orient*, Vol. 18
- 1983 “A Study of the Term *Sirr* (Secret) in Sufi *Latā’if* Theories”, *Orient*, Vol. 19
- 1984 「クルアーン第二章第三五節（「光の節」）の神秘主義的注釈について」『日本オリエント学会創立30周年記念オリエント学論』

IV 研究活動

集』刀水書房

- 1985 「モッラー・サドラーの輪廻 (tanāsukh) 思想」『イスラム世界』23・24号
- 1986 「モッラー・サドラーの『万有帰神論』訳注」『紀要』100
- 1988 “The First Being : Intellect (*'aql/khiradh*) As the Link Between God's Command and Creation According to *Abū Ya 'qūb al-Sijistānī*”『紀要』106
- 1989 「ファイド・カーシャーニーのイマーム論における神秘主義的地位」『西南アジア研究』30号
- 1990 「イスラーム神秘思想における時間——モッラー・サドラーとシャムスッディーン・ダイラミー」『日本オリエント学会創立35周年記念オリエント学論集』日本オリエント学会編, 刀水書房

林 佳世子

- 1982 「15世紀後半のイスタンブル——メフメト2世の復興策を中心に」『お茶の水史学』第25号
- 1988 「『メフメト2世ワクフ文書』群の成立」『日本中東学会年報』3号
- 1989 「イスラム都市における「イスラム」——都市を支えたワクフ制度」『創文』291号
- 1989 「イスラム都市のイメージ：イスタンブル」『イスラムの都市性・研究会報告』6号
- 1989 「イスラム都市の慈善施設『イマーレット』の生活」『東洋文化』69号



## J 図 書

本研究所は、アジア諸地域に関する図書を約40万冊、雑誌を約4,300種所蔵している。とくに漢籍は今日収集不可能な貴重なものが多く、日本で有数のコレクションである。その他の分野の図書・雑誌も鋭意収集に努め、近年着実に増加している。それらは研究者に公開され、本研究所2階の閲覧室には毎年のべ約11,000名の閲覧者がある。

本研究所蔵の図書・雑誌数は平成元年4月1日現在、次のとおりである。  
(但し整理中のものは含まない)

和・中・朝文図書	333,120冊	
欧文図書	66,151冊	計399,271冊
和文雑誌	1,717種	
朝文雑誌	253種	
中文雑誌	1,543種	
欧文雑誌	827種	計4,340種

このほか、マイクロフィルム3,547リール、マイクロ・フィッシュ約4万シートを所蔵する。

### 主要所蔵図書

〔大木文庫〕本研究所創設の当初に、大木幹一氏より中国法制関係書総数3,168部、45,452冊の寄贈を受けた。法律のみならず、政治、外交、経済、産業など研究上の貴重書が多く、明代以後の時期の研究にはとくに欠くことのできない蒐集資料である。いわゆる官箴や公牘の類の数百部は、本文庫の

#### IV 研究活動

ひとつの柱梁をなしている。その目録は昭和34年に旧蔵者の稿本にもとづき編纂、刊行された。

〔帝国学士院東亜諸民族調査室旧蔵書〕昭和19年帝国学士院東亜諸民族調査室の解散にともない、その蔵書の和漢洋書・雑誌・資料等2,000冊が移管された。このなかには西欧におけるアジア諸民族研究の主要な文献が集められている。

〔東方文化学院旧図書〕東方文化学院東京研究所は、昭和4年に東方文化に関する研究機関として創設され、外務省の所管に属したが、昭和23年廃せられた。昭和42年3月、その旧蔵書と和漢洋書あわせて103,587冊が本研究所に移管された。

〔松本忠雄氏旧蔵書〕昭和25年度科学研究費補助金により、松本忠雄氏旧蔵の和漢洋書、雑誌など3,000冊を購入した。これはとくに近代中国研究資料として重要なものを含んでいる。

〔長沢規矩也氏旧蔵書〕昭和26・28両年度科学研究費補助金により、長沢規矩也氏旧蔵の約3,000冊を購入した。その内容は明清時代の戯曲小説類で、貴重書も少なくなく、中国文学研究上重要な資料である。昭和36年11月本研究所創立20年に当り、同氏から約150冊の補充を得るとともに『雙紅堂文庫分類目録』を刊行した。

〔清野謙次氏旧蔵書〕昭和27・28両年度科学研究費補助金により、清野謙次氏旧蔵洋書750冊を購入した。人類学・考古学関係のものを根幹とする貴重なコレクションであり、昭和53年3月に分類目録を刊行した。

〔矢吹慶輝氏旧蔵書〕昭和27年度科学研究費補助金により、矢吹慶輝氏旧蔵洋書約360冊を購入した。英・仏・独のマニ教関係の文献がその中心をなし、他に仏教遺跡の発掘報告書も含まれている。

〔下中文庫〕下中弥三郎氏より、昭和28年1月から32年6月に至るまで、戦後出版の中国書4,500冊、中国雑誌10種及び戦後出版の東洋関係洋書130冊を受贈した。とくに中国書は当時入手できた書の主要なものをほとんど網羅



し、戦後の中国研究に関する重要な資料である。

〔東京銀行調査部旧蔵資料〕昭和34・35両年度にわたり、東京銀行調査部所蔵の経済関係書を主とする和洋書・資料類約18,000冊の寄贈を受けた。

〔仁井田陞氏旧蔵書〕本研究所名誉教授仁井田陞氏の逝去（昭和41・6・22）後、所蔵の中国書5,000冊、洋書120冊、和書2,200冊、清代公私文書類900余点、50基の碑文の拓本を受入れた。これらの図書資料は、大木文庫とともに旧中国の社会研究に極めて重要なものである。

〔我妻栄氏旧蔵資料〕我妻栄氏の逝去（昭和48年10月）後、所蔵の和洋法学文献および各種資料が東京大学に寄贈された際、本研究所はとくにアジア法制関係文献資料総数647部932冊の寄贈を受けた。その目録は昭和57年3月「我妻栄先生旧蔵アジア法制関係文献資料目録」として刊行した。

〔倉石武四郎氏旧蔵書〕昭和50年度に本学名誉教授倉石武四郎氏の漢籍を主とする蔵書を収蔵することとなり、昭和56年度までにその重要な部分、漢籍約4,300点などを購入した。

〔江上波夫氏旧蔵書〕昭和56・57・59年度にわたり、本研究所名誉教授江上波夫氏の蔵書のうち、歴史学、民族学・考古学を中心とした洋書（露文を含む）の一部を購入した。

〔Hans Daiber氏旧蔵写本〕昭和61年・62年度にわたり、東洋学文献センターと協力し、オランダの学者ハンス・ダイバー氏の収集した計367点の写本を購入した。主としてアラビア語によって書かれたもので、イスラームの宗教、思想、歴史に関する重要な資料である。

〔文淵閣本四庫全書影印本〕昭和63年度に、文淵閣本四庫全書影印本全1,501冊を購入した。四庫全書は、清代以前の中国の古典的文献を網羅した最も基本的な叢書であり、現在、台北故宮博物院の所蔵するところとなっている文淵閣本原本は、北京紫禁城内に置かれていた正本をなす。今回購入したその全体の影印本は、中国研究上不可欠の重要性をもっており、当研究所に整備することによって、中国研究の一層の発展が期待される。

#### IV 研究活動

〔オランダ植民地省公文書索引およびジャワ官報〕平成元年度に、マイクロフィッシュ化された資料一式を購入した。「植民地省公文書索引」は、オランダの国立公文書館所蔵の旧植民地省文書(1850～1921年)の、手書きの索引書数百巻分を網羅したものであり、「ジャワ官報」は、インドネシアにおけるオランダ植民地政府が1828～1939年の期間に公布した官報の集成である。

以上の各コレクションのほか、昭和33年度から3ヵ年にわたって文部省科学研究費により、総合研究「アジア地域の社会・経済構造」の一環として、その資料(主として洋書)1,800冊を購入し、さらに昭和36年度から40年度まで機関研究および特定研究「アジア社会の近代化と文化の変動」において、継続して資料の蒐集に努め、総数4,771冊に達した。



## K 資料

本研究所の収蔵する諸種の資料のうち、重要なものを以下に掲げる。

〔殷代甲骨〕本研究所蔵甲骨は、次の3部分から成る。第1は、故河井仙郎旧蔵の1,708片で、これは昭和54年に現蔵者井上富美子氏より寄贈された。第2は故田中慶太郎氏旧蔵の393片で、これは昭和54年に購入した。第3は旧蔵者三浦清吾氏より寄贈された2片である。合計2,103片に達し、京都大学人文科学研究所に次ぐ、わが国有数の蒐集である。これらは、整理・綴合の上、松丸道雄『東京大学東洋文化研究所蔵甲骨文字 図版篇』（東洋文化研究所報告 1983）として刊行された。考釈篇は続刊の予定である。

〔中国歴代古銭・銭范〕旧東方文化学院の蒐集品で、殷代の貝貨、戦国時代の布銭・刀銭・郢爰からはじまり、歴代の代表的貨幣を収蔵する。約1,250点の古銭と、10点余の銭の范模を含んでいる。現在、整理中である。

〔中国考古資料〕上記の殷墟出土甲骨片、古銭以外に、瓦当約110点があり、また鏡、戈、戟、鏃、など青銅器、玉器、土器、磚、磚製買地券、壁画片、俑、仏像、衣服、室内装飾品、土俗品がある。その大部分は旧東方文化学院が購入し、本研究所に移管されたものである。

〔中国絵画資料（原版・焼付写真・カラスライド等）〕米国、カナダ、欧州諸国、東南アジア諸国の美術館、個人蒐集家が所蔵する中国絵画および日本に現存している中国絵画に関するものが主体となっており、その他に米国ミシガン大学アーカイヴより購入した中国絵画の焼付写真、東京国立文化財研究所原版からの焼付写真等がある。現在、中国絵画に関する写真資料の蒐集としては世界有数の質量を備えている。これらの資料については、「東洋学文献センター叢刊」として5冊の目録が昭和52～58年に刊行され、また



#### IV 研究活動

図録は『中国絵画総合図録』(5巻)として東京大学出版会より昭和57~58年に刊行された。

〔中国清代・民国期の文書資料〕17・18世紀より20世紀に及ぶ、北京をはじめ嘉興、武進、蘇州、通州、宝応、鳳山などにおける土地文書を中心とし、その他公私文書類約二千数百点を収蔵している。仁井田陞名誉教授旧蔵遺贈分や旧東亜研究所収集文書等を含む。現在東南アジア部門の歴史・経済・政治関係者が所外の研究者と協力して整理中であり、その目録と一部の内容は、昭和58~61年に『東洋文化研究所所蔵中国土地文書目録・解説(上)(下)』(東洋学文献センター叢刊)として刊行された。

〔内蒙古出土学術資料〕本研究所名誉教授江上波夫氏が戦前に内蒙古で発掘・採集された資料約1万点が昭和58年度に寄贈された。これらは主として土器片・陶器片などであり、今日では入手しがたい貴重な資料である。これらの資料の一部は氏のいくつかの論文に掲載されているが、他の圧倒的多数は未発表のものであって、将来の公刊が望まれる。

〔中世インド・イスラム史跡調査関係資料〕デリーおよびインド各地に現存するいわゆるサルタナット時代のムスリム遺跡に関する資料で、各種サイズの写真、実測図などが主なものである。これらの資料は昭和34~37年度に「東京大学インド史跡調査団」が実施した2回にわたる現地調査の成果の一部で、とくにニューデリーとその周辺地域に現存する建造物の資料は、今日消滅してしまったものが多く、諸外国に見られない貴重な資料を含んでいる。

〔西アジア考古資料〕人類文明の起源、東アジアおよび日本古代文明の源流としての古代イラン文明の研究を目的として、昭和31年以来、東京大学イラク・イラン遺跡調査団がイラク・イラン両国における遺跡14箇所の発掘・調査の結果収集したものである。その数は数万点に達し、これらはここ10年来各国が遺物の分与、流出を厳禁している今日では甚だ貴重な資料である。特にその大部分は発掘品で、考古学上第一級資料である。



## V 東洋学文献センター

本文献センターは、東洋学に関する文献・情報を収集し、国内外の研究者に対し、各種のドキュメンテーション・サービスをおこなうことにより、アジア研究の格段の発展を期するものとして、昭和41年度に本研究所に設置された。発足以来、以下の各項の諸事業にとりくんできた。

### I 研究組織

アジア研究のための基礎資料の収集及びデータ・ベースの製作

主任 岡 本

1. 岡本 サエ
2. 関本 照夫
3. 濱下 武志
4. 宮嶌 博史
5. 戸田 禎佑
6. 田仲 一成
7. 加納 啓良
8. 鈴木 董
9. 羽田 正

文献センター専門委員会委員等によって構成され、委員相互の協議により、資料収集等に関する重点的課題について研究する。

### II ドキュメンテーション・サービス活動

#### 1. 基本資料の収集

昭和41年から3ヵ年計画で近・現代中国、朝鮮刊行物等若干の資料収集と整理を進め、一応所期の目的を達成したのち、引き続き、次の三種類の文献

## V 東洋学文献センター

につき、その収集に努めている。

- (1) 前近代中国関係文献
- (2) 近現代中国関係文献
- (3) 近現代朝鮮関係文献

### 2. 『東洋文化研究所漢籍分類目録』の編纂、刊行

昭和42年以来、本研究所漢籍分類目録の編纂事業を推進し、昭和47年度に『本文篇』（B 5版, 1, 174頁）、次いで昭和49年度に『索引篇』（B 5版 書名索引352頁, 人名索引446頁, 検字表39頁, 計837頁）を刊行した。

本目録は一研究所の蔵書目録たるにとどまらず、古籍・新書を共に含む中国文献のコレクション分類目録として利用価値がたかく需要が多いので、昭和56年に一部改訂のうえ合冊縮印版を刊行した。

### 3. 『東洋学文献センター叢刊』の編纂、刊行

東洋学研究者のための書誌、資料集のドキュメンテーション活動として、昭和42年度以来、本叢刊を編纂、刊行し、平成元年度までに、60輯（他にB 5版の別輯16点）に達した。（\*は在庫なし）

- \*第1輯 東洋文化研究所東洋学文献センター 新収図書目録（昭和41年度） 1968
- \*第2輯 清代地方劇資料集（一） 1968
- \*第3輯 清代地方劇資料集（二） 1968
- \*第4輯 周揚著訳論文・周揚批判文献目録 1969
- \*第5輯 郁達夫資料 1969
- \*第6輯 東洋文化研究所東洋学文献センター 新収図書目録（昭和42・43年度） 1970
- \*第7輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（上） 1970



- \*第8輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（中） 1970
- \*第9輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇（下） 1970
- \*第10輯 李大釗文献目録 1970
- \*第11輯 明刊元雜劇西廂記目録 1970
- \*第12輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇・編著者名索引 1970
- \*第13輯 魯迅全集注釈索引 1971
- \*第14輯 1930年代中国文芸雑誌（一） 1971
- \*第15輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇（Ⅰ） 1972
- \*第16輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇（Ⅱ） 1972
- \*第17輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇（Ⅲ） 1972
- \*第18輯 郁達夫資料補篇（上） 1973
- \*第19輯 切韻殘卷諸本補正 1973
- \*第20輯 目録学 1973
- \*第21輯 花間集索引 1974
- 第22輯 郁達夫資料補篇（下） 1974
- \*第23輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（一） 1975
- 第24輯 江西蘇区文学運動資料集 1976
- \*第25輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（二） 1976
- 第26輯 民国以来人名字号別名索引 1977
- 第27輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目  
（一） 1978
- 第28輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（三） 1978
- 第29輯 中国左翼文芸理論における翻訳・引用文献目録 1978
- 第30輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（四） 1979
- 第31輯 儀礼疏攷正（上） 1979
- 第32輯 儀礼疏攷正（下） 1979
- 第33輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（五） 1980

V 東洋学文献センター

- 第34輯 小説月報(1920-1931)総目録 1980
- 第35輯 コミンテルン定期刊行物中国関係論説・記事索引 1981
- 第36輯 魯迅文言語彙索引 1981
- 第37輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目  
(二) 1981
- 第38輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目  
(三) 1982
- 第39輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集(六) 1983
- \*第40輯 東洋文化研究所所蔵 中国土地文書目録・解説(上) 1983
- 第41輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目  
(四) 1983
- 第42輯 校合本 大越史記全書(上) 1984
- 第43輯 『植民地雑誌』(*Koloniaal Tijdschrift*)所収論文目録 1984
- 第44輯 校合本 大越史記全書(中) 1985
- 第45輯 江西蘇区紅色戯劇資料集 1985
- 第46輯 宋之問詩索引 1985
- 第47輯 校合本 大越史記全書(下) 1986
- \*第48輯 東洋文化研究所所蔵 中国土地文書目録・解説(下) 1986
- \*第49輯 許舒博士所輯 広東宗族契拋彙録(上) 1987
- 第50輯 沈佺期詩索引 1987
- 第51輯 中華人民共和国・朝鮮民主主義人民共和国 職官歴任表 1987
- 第52輯 韓国政治エリート研究資料——職位と略歴 1987
- 第53輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目  
(五) 1988
- \*第54輯 許舒博士所輯 広東宗族契拋彙録(下) 1988
- 第55輯 南岳思大禪師立誓願文索引——六朝隋唐宗教・思想資料 1988
- 第56輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目



(六) 1988

第57輯 郁達夫資料総目録附年譜(上) 1989

第58輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目  
(七) 1989

第59輯 郁達夫資料総目録附年譜(下) 1990

第60輯 山西票号資料・書簡篇(1) 1990

\*別輯1 東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録書名人名索引・京都大学人文科学研究所漢籍分類目録書名人名通檢合併 四角号码檢字表  
1975

別輯2 海外所在中国絵画目録(アメリカ・カナダ編) 1977

別輯3 海外所在中国絵画目録(東南アジア・ヨーロッパ編) 1981

別輯4 日本所在中国絵画目録(寺院編) 1982

別輯5 LABRANG 李安宅の調査報告 1982

別輯6 日本所在中国絵画目録(博物館編) 1982

別輯7 日本所在中国絵画目録(個人蒐集編) 1983

別輯8 中国経済関係雑誌記事総目録(一)——『中外経済周刊』『経済半月刊』『工商半月刊』1983

別輯9 孟郊詩索引(上) 1984

別輯10 孟郊詩索引(下) 1984

別輯11 中国経済関係雑誌記事総目録(二)——『国際貿易導報』1985

別輯12 中国経済関係雑誌記事総目録(三)——『中行月刊』1985

別輯13 『内務行政雑誌』(A Catalogue of the Articles in *Tijdschrift voor het Binnenlandsch Bestuur*) 所収論文・記事目録 1985

別輯14 中国経済関係雑誌記事総目録(四)——『銀行週報』(上) 1987

別輯15 春秋晋国『侯馬盟書』字体通覧——山西省出土文字資料 1988

別輯16 中国経済関係雑誌記事総目録(五)——『銀行週報』(下) 1989

## V 東洋学文献センター

### 4. 「センター通信」の編集、刊行

センターの活動を広く利用者に知らせるとともに、利用者の意見を載せる場として、「センター通信」（年1～2回不定期）を編集刊行し、平成2年3月現在、第30号に達している。

### 5. 国内漢籍所在調査

全国漢籍総合目録作成の準備作業として、各地に未整理のまま散在する漢籍の所在を調査し、カードを作る仕事を昭和46年度の予備調査開始以来継続推進してきた。現在、八戸市立図書館・長崎大学附属図書館経済学部分館・熊本大学附属図書館落合文庫・新潟県立新潟図書館・新発田市立図書館・愛媛大学附属図書館の所蔵漢籍について分類目録を作成し、漢籍所在調査報告書計4冊を刊行したほか、宮城県立図書館・千葉県立中央図書館・新潟大学附属図書館・高知大学附属図書館等数機関の所在調査をおこなった。

### 6. 資料の収集

昭和50年度以来の継続事業として、当研究所未収の漢籍で他機関が所蔵するものをマイクロフィルムにより、収集している。

昭和56年度から、清末・民国初年間に刊行された新聞・雑誌の影印本類を収集し、閲覧に供している。

また昭和62年度にはダイバー博士所蔵アラビア語写本蒐書を「大型コレクション」として購入しその目録を刊行した。

近年広くアジア全域の現代社会研究の必要が要請されているのにかんがみ、中国・朝鮮の他、平成元年度から東南アジア・南アジア・西アジア地域の新聞をマイクロフィルムにより収集している。

### 7. 漢籍担当職員講習会および漢籍整理長期研修

昭和47年から全国各地の漢籍担当職員に対し、文部省と共催で漢籍目録実



務の講習会を実施し、昭和56年度までに計10回、受講者は105機関、のべ224名に達し終了した。

なお昭和55年度からは、諸大学図書館の漢籍整理担当職員に対して、講義と実習の両面にわたる個別指導を行ない、漢籍整理の専門知識と技能の向上をめざす長期研修を実施し、平成元年度までに23機関33名の受講者があった。

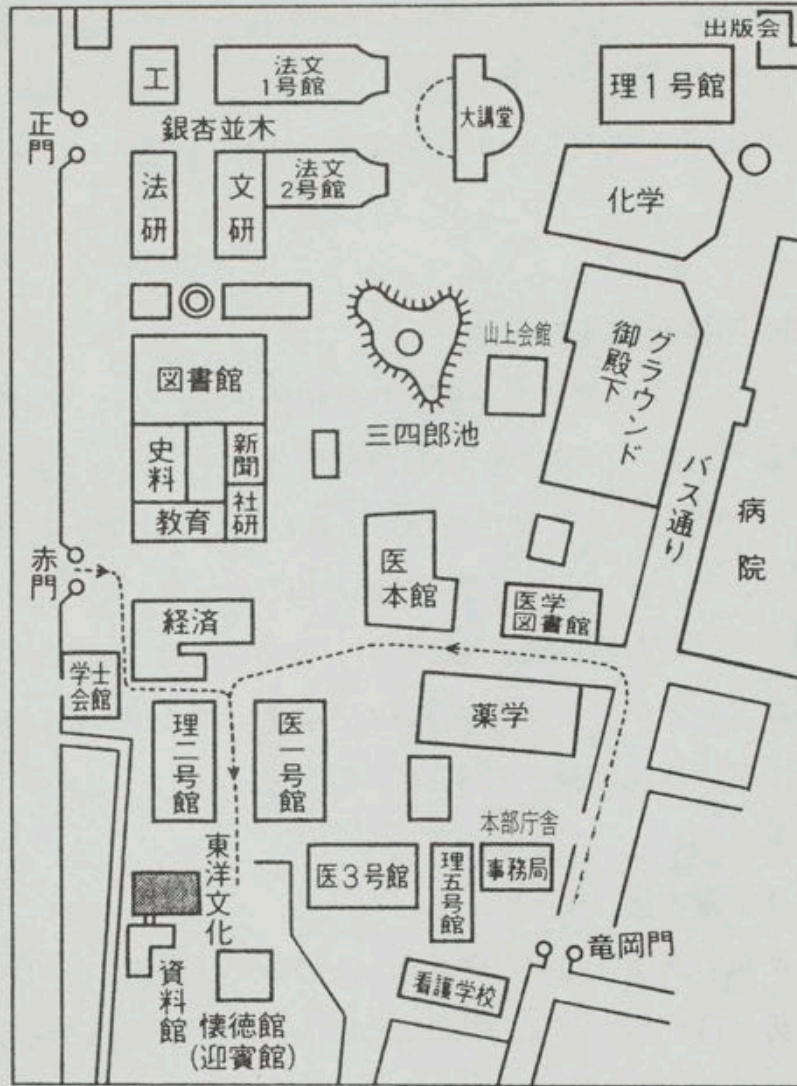
## 8. 朝鮮関係図書所在調査

東洋学文献センター叢刊の一編として昭和45～47年に「朝鮮研究文献目録」単行書篇、論文・記事篇を刊行したが、これは、所収文献の所在目録ではなかったため、当目録の利用者から所在についての問い合わせがあっても、必ずしも、センターとして常に対応し得なかった。こうしたことから朝鮮関係図書の全国的な所在調査及び総合目録の作成は、国内外の研究者から強く要望されているので、従来の漢籍所在調査と並んで、昭和61年度より、新規事業として、標記の調査をおこなっている。

## 9. 漢籍貴重書複本化

本研究所所蔵の漢籍は約30万冊あり、その中には宋刊本・明刊本・朝鮮刊本等の貴重書が含まれている。このため学内外のみならず、海外からも多数の利用者があり、図書の損耗も少なくない。

貴重書は、文化財としても緊急に保全措置をとる必要に迫られているが、この事業に予算がつき、平成元年度から複本化を実施した。



## 東京大学東洋文化研究所

〒113 東京都文京区本郷7-3-1

電話 (03) 812-2111 内線 5830, 5831

(2. 5 ヨシダ印刷両国工場)